

天竜区緑恵台土砂崩落に係る第三者による技術的検証会（第 1 回）議事要旨

1. 日 時：令和 4 年 1 1 月 1 5 日（火） 1 0：0 0～1 1：1 0
 2. 場 所：浜松市役所本庁舎 8 F 第 5 委員会室
 3. 出席者：沢田和秀委員、松田達也委員
長田副市長、吉澤技術統括監、藤田環境部長、清水農林水産担当部長
井熊都市整備部長、伏木土木部長、袴田天竜区長
事務局：浜松市都市整備部土地政策課、土木部道路保全課
 4. 議事概要
 - (1) 開会
 - (2) 技術的検証会の趣旨
 - (3) 天竜区緑恵台土砂崩落原因調査の報告
 - 1) 応急対策・避難指示解除について
 - ・ 応急対策として、堆積した崩落土砂を撤去し、更に崩落する可能性がある箇所への対策として大型土のう築堤工（H=3.0m）及び沈砂池を設置。
 - ・ 応急対策が完了したこと、観測の結果、降雨等による斜面の変状が観測されていないことから、発令していた避難指示は 11 月 15 日（火）正午に解除する。
- <検証委員>
- ・ 上記対応について妥当である。
- 2) 地質調査結果について
 - ・ 4 箇所で行ったボーリング調査の結果、盛土と造成盛土の境界が判明、盛土は 2.6～3.2m の厚さがありシミュレーション結果と概ね一致。
 - ・ 崩落した土砂は、盛土されたものと判明。
- <検証委員>
- ・ 上記調査結果は妥当である。
- 3) 発災のメカニズムについて
 - ・ 台風による豪雨が起因となり以下の順で崩落に至ったと考える。
 - ①盛土は空隙が多く、水を吸収・貯留しやすい状態。
 - ②台風第 15 号の大雨（時間最大雨量 60mm/h、累積雨量 292mm 静岡県天竜観測所）により盛土内の地下水位が上昇し、盛土土塊重量が増加。
 - ③短時間での豪雨により、間隙水圧が上昇し、盛土のせん断抵抗力が低下し、不安定な状態になる。
 - ④飽和状態になり、せん断抵抗力を失った盛土が崩落。
- <検証委員>
- ・ 上記考察について妥当である。

4) 残存盛土対策について

- ・地質調査等の結果、約 3,300 m³の盛土の撤去が必要。
- ・盛土撤去後、安定勾配で法面整形し、排水施設を設置予定。
- ・土質試験結果を反映した残存盛土対策の詳細については第 2 回で検証予定。

<検証委員>

- ・上記対応について妥当である。

5) 盛土の定義について

<検証委員>

- ・林地開発造成後に当該現場に盛られた土砂について、締固め管理等を行っていないのに「盛土（もりど）」と呼ぶことはいかかなものか。熱海市の事例では「盛り土（もりつち）」と表現していることから、「盛土」と「盛り土」の定義を分けた方がよい。



写真-天竜区緑恵台土砂崩落に係る第三者による技術的検証会（第1回）R4.11.15